

1 1月定例記者会見の概要

1 日時 令和3年11月4日（木）14時30分～15時30分

2 場所 本庁舎4階 議場

3 出席者 <報道機関>

- ① 朝日新聞社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ② 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ③ 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ⑤ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑥ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑦ 時事通信社 福島支局（南相馬記者クラブ準会員）

計 7 社

< 市側 >

・市長

(テレビ会議)

- ・林副市長・常木副市長・教育長・小高区役所長
- ・復興企画部長・市民生活部長・健康福祉部長
- ・健康福祉部新型コロナ対策担当理事・こども未来部長
- ・経済部長・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 16 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

◆最近までの出来事

それでは、前回10月4日の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてです。

まず、ワクチン接種の状況ですが、11月4日時点で、2回のワクチン接種を完了した方の人数は50,582人で、接種回数は延べ101,888回となりました。

また、市内では、9月29日以降36日間、感染者が確認されていません。これは市民の皆様が、感染拡大地域との不要不急の外出自粛やマスクの着用、手指の消毒などの感染対策にご協力いただいているおかげです。改めて感謝申し上げます。

次に「ワールドロボットサミット2020福島大会」についてです。

10月8日から10日の3日間、福島ロボットテストフィールドにおいて、ワールドロボットサミット2020福島大会が開催され、インフラ・災害対応分野の競技会で、南相馬ロボット産業協議会の「MISORA」が準優勝をはたしました。地元企業と操縦を担当した小高産業技術高校、大会運営をボランティアで支えたテクノアカデミー浜などの多くの皆さんが力を合わせた結果だと思います。南相馬の技術力の高さを世界に発信できたことを、大変喜ばしく思います。

次に、小高区における移住定住の促進に関する取り組みについてです。

10月15日に小高区役所において、「地域のお世話人 登録証交付式及び意見交換会」を行いました。

今回ご登録いただいた25名の「地域のお世話人」の皆様には、小高区への移住者や移住希望者と地域住民とのつなぎ役を担い、生活者目線での相談や案内・情報発信などに取り組んでいただきます。

次に、新米に関する話題です。

10月22日に、ふくしま未来農業協同組合そうま地区本部前において、「令和3年度新米出発式」を開催いたしました。

また、出発式終了後には、かしま交流センターにおいて、「新米発表会」を行い、南相馬市産コシヒカリの新パッケージを披露させていただきました。農家の皆様が丹精込めて育てた、おいしい南相馬市産「コシヒカリ」と「天のつぶ」について、ぜひ多くの皆様にお召し上がりいただきたいと思います。

次に市表彰式についてです。

11月3日に令和3年度南相馬市表彰式を開催し、多年にわたり市勢の進展に寄与され、公共の福祉に貢献された皆様の功績をたたえ、表彰を行いました。

今年は、自治の分野で8名、教育文化の分野で21名、産業経済の分野で1名、保健福祉の分野で1名、消防防災の分野で4名、篤行功勞として1団体、合計35名1団体の皆様が受賞されました。

続いて、今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、今後の新型コロナウイルス感染症対策についてです。

過日、国から新型コロナワクチンの3回目の接種については、2回目の接種を終えた全員を対象として、2回目の接種完了から概ね8ヶ月後に行うとする、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会での審議結果が示されました。

また、福島県立医科大学と南相馬市が連携して実施した新型コロナワクチン接種後の抗体検査において、既往歴、服用歴、生活習慣及び1回目2回目の接種間隔等が、ワクチン接種の効果や接種後の抗体量の減少の推移に与える影響の差は、ほぼないことが現状では見込まれています。これらのことから、市では、1回目2回目の接種順を基本に3回目の接種を日時指定方式による集団接種で進める方針です。このため、早ければ令和3年12月から医療従事者の接種を行い、その後1月中旬から、高齢者施設の入所者及び従事者の接種を行う予定です。

65歳以上の高齢者の接種は2月上旬から開始し、接種券の発送は1月中旬を予定しています。59歳以下の方の接種は3月下旬から開始し、接種券の発送は3月上旬を予定しています。

また、これから冬にかけて空気が乾燥し、インフルエンザが流行する可能性があります。インフルエンザ予防接種は、新型コロナワクチンの予防接種と2週間以上間隔を空ける必要があります。インフルエンザ予防接種を希望されている方は、早めの接種をご検討ください。

今後、感染の第6波に備えつつ、適切な感染対策に取り組んでまいります。市民の皆様におかれましては、引き続き基本的な感染対策の徹底とワクチンの積極的な接種をお願いいたします。

次に、行政区への加入促進に関する取り組みについてです。

南相馬市では令和3年度から毎年11月を「行政区加入促進月間」に位置付け、3区長会の役員で構成される市区長連絡協議会と共同で加入促進に関する取り組みを実施します。

まず、11月9日に原町区、11日に鹿島区、15日に小高区で「行政区加入促進街頭キャンペーン」を実施します。キャンペーンでは、区長会の役員の皆様がチラシなどを配り、行政区への加入を呼びかけます。また、11月18日には、「行政区地域活動事例発表会」をさくらホールで開催します。発表会では、市内の4行政区の区長の皆様に、各区で独自に取り組んでいる事業や地域の課題等を発表していただきます。

市内では、東日本大震災をきっかけに、地域コミュニティの枠組みが変化し、行政区への加入率は、震災前の85.9パーセント（平成23年3月1日時点）から、80.7パーセント（令和3年4月1日時点）まで下がっています。

市区長連絡協議会と連携を図りながら、行政区への加入促進に向けた取り組みを進めていきます。

次に、「イノベこども科学祭2021」についてです。

11月13日、福島ロボットテストフィールドで、福島県主催、南相馬市共催による「イノベこども科学祭2021」が開催されます。地元企業や高校など19団体が出展します。ものづくり体験や科学実験、eスポーツ体験、VR体験などが開催され、遊びながら科学やものづくりの楽しさを学ぶことができるイベントです。

参加対象は県内にお住まいの児童・生徒とその保護者の方です。先着順となっておりますので、事前にお申し込みいただき、この機会にぜひ、ご来場くださいますようお願いいたします。

次に、市内で開催される冬のイベントについてです。

まず、11月17日から23日まで、鹿島区でもみじまつり実行委員会の主催による「かしまプロムナード2021～光の散歩道～」が開催されます。鹿島区内の4か所の神社仏閣や風力発電所がライトアップされる予定です。11月20日には、宝蔵寺で点灯イベントが開催され、法螺貝の音色とともに、境内に光が灯されるとのことです。次に、11月20日から1月10日まで、小高区で、小高観光協会の主催による「あかりのファンタジーイルミネーションinおだか」が開催されます。小高交流センターのほか、小高区内の合計23箇所でイルミネーションが点灯する予定です。

また、同日、小高交流センターでは「ウィンターフェスティバル」も開催いたします。当日は子ども達を楽しめる輪投げや射的コーナーを設けるほか、とれたて

野菜の販売などを行います。

ぜひ、多くの皆様に、美しい景色を見ながら街歩きを楽しんでいただきたいと思います。

次に、復興工業団地における新工場の竣工についてです。

11月18日に株式会社テラ・ラボの新工場が竣工されます。

新工場は今年の3月に着工していたもので、長距離無人航空機の機体を増産しながら、災害情報の解析データの収集、共有の研究を強化することです。復興工業団地における工場の竣工は、今年6月に開所したロボコムアンドエフエイコム株式会社に続き2番目となり、今後は株式会社アイリスプロダクトの工場の竣工も予定されております。復興工業団地における工場の集積が進むことで、雇用の創出や地元企業との連携による地域経済の活性化が図られることを期待いたします。

次に金婚祝賀会についてです。

11月22日に金婚祝賀会を開催します。結婚50年を迎えた33組のご夫婦にご出席いただく予定です。金婚を祝福して、市から賀寿状を贈呈するほか、原町みなみ幼稚園の園児の皆さんによる歌などが披露される予定です。

次に市成人式についてです。

全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により延期していた令和3年成人式を、11月23日に南相馬市民文化会館で開催いたします。令和3年の成人式については、新型コロナの影響でこれまで2回延期しております。日程的にもこれ以上の延期は難しい状況です。市内でも全国的にも感染状況は落ち着いており、感染対策を徹底し当日を迎えられるものと考えております。

なお、11月1日時点で新成人から179人の参加申込をいただいております。

次に、マラソン大会・ウオーキング大会についてです。

12月5日に第34回野馬追の里健康マラソン大会、第16回ウオーキング大会を開催いたします。

去年はオンラインでの開催でしたが、今年は、約2,500名の参加者や招待選手が市内のコースを走る予定です。

開催にあたっては、密を避けるために、開会式などの式典を行わず、ランナーがスタートラインを通過してから記録を計測するネットタイムを採用するなどの感染対策を実施します。

私からの報告は以上です。この後、皆さんからのご質問をお受けします。

【各部からの資料提供】

◆小高区

- ・「あかりのファンタジーイルミネーション in おだか」点灯式
- ・「WINTER FESTIVAL」の開催について

◆鹿島区

- ・かしまプロムナード2021～光の散歩道～

◆復興企画部

・行政区加入促進月間の取組について

◆市民生活部

・第34回野馬追の里健康マラソン大会等の開催について

◆健康福祉部

・令和3年度南相馬市金婚祝賀会の開催について

【質疑応答】

質問1：

3回目のワクチン接種について、前回と同様の接種方法で行う予定ですか。

回答1：市長

基本的に前回と同様の方法で接種を行う予定です。医療従事者はそれぞれの職場等で、施設入所者は各施設で接種を受けていただく予定です。一般の方等は、日時を指定した集団接種を行います。会場については、原町区はスポーツセンターが工事中のため、小川町体育館で実施する予定です。小高区及び鹿島区は、前回と同じ会場で実施する予定です。接種の1か月前には皆様に通知をお送りしたいと考えています。

質問2：

第3回目の接種に必要なワクチンの確保について、目途は立っていますか。

回答2：健康福祉部新型コロナ対策担当理事

先行して接種を行う約4,000人分のワクチンは確保しています。今後のワクチンの供給量については、現時点で国から11月22日配送分までしか示されていない状況です。

回答2：市長

本市は他自治体に比べて2回目の接種完了が早かったため、3回目の接種時期に、必要な量のワクチンが供給されるか心配しています。

11月8日に、東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当兼ワクチン接種推進担当大臣が来市されますので、ワクチンを早期に供給いただくよう要望する予定です。

質問3：

ワクチンの供給見込みを踏まえて、改めて接種のスケジュールについて教えてください。

回答3：市長

今後、スケジュールをお示しする予定ですが、医療従事者は12月、介護施設の入所者及び従事者は1月、65歳以上の高齢者は2月上旬に接種を行う予定です。

前回と同じ順番になりますので、高齢者は小高区から、一般の方は原町区、鹿島区から実施する予定です。国の方針どおり、2回目の接種から8か月を迎える方から順に3回目の接種を実施する予定です。ワクチンの配送計画が示されないと、接種券の発送ができませんので、ワクチンの供給予定について国に確認したいと思います。

質問 4 :

ワクチン接種の対象者数を教えてください。基礎疾患のある方は高齢者と同じ2月上旬に接種を行う予定でしょうか。

回答 4 : 健康福祉部新型コロナ対策担当理事

医療従事者が約2,000人、介護施設入所者及び従事者が約1,000人、65歳以上が約20,000人、基礎疾患を有する方が約1,000人、60歳から64歳の方が約3,300人、教職員などエッセンシャルワーカーと言われる方が約700人、59歳以下の方が約23,000人、合計51,000人です。

基礎疾患のある方の接種時期は、前回同様、高齢者が終わって一般の方が始まるまでの間となります。

質問 5 :

一般の接種について、地区ごとに接種券を発送するとのことですが、前回の接種時に指定日時より遅く接種した場合、3回目の接種時期は遅れるのでしょうか。

回答 5 : 健康福祉部新型コロナ対策担当理事

基本的には地区ごとですが、2回目の接種から8か月を迎えた方から順に3回目の接種を行いますので、同じ地区でも接種時期が遅くなる場合があります。

質問 6 :

個人ごとの接種時期は管理できているのでしょうか

回答 6 : 健康福祉部新型コロナ対策担当理事

ワクチン接種記録システム（VRS）で個人ごとの接種時期を管理しております。

質問 7 :

衆院議員選挙の福島1区の結果について、どのようにお感じでしょうか。

回答 7 : 市長

全国的な傾向と異なり、福島1区を含め福島県全体が与党に厳しい結果になりました。個人的な感想になりますが、震災からの復興に向けた取り組みに対する県民の皆様の評価が、結果に表れたとみています。そうした皆様の思いを受け止めて対応しなければならないと、改めて感じたところです。

なお一層復興を確かなものにしていくため、しっかりと説明してまいりたいと思います。

質問 8 :

11月5日に経済産業副大臣が来市しますが、どのような要望を行いますか。

回答 8 : 市長

先日、復興大臣がお見えになったときに、これまで復興庁に要望している主な内容について、改めて要望いたしました。

今回も同様の内容を要望するほか、副大臣は原子力災害現地対策本部長でもありますので、賠償問題についても要望を行う予定です。

以上